

事業番号	016
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	防災訓練実施事業						担当部	市長公室							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	危機管理課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	危機管理係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		4 防災		1 防災意識を高める									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	1		目	14		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画	災害対策基本法、小牧市地域防災計画														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	毎年、中学校区の市民、生徒を対象に地震等災害を想定した訓練をすることにより、実際の災害時の対応がスムーズに出来るようにする。														
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 大地震発生を想定し、情報収集、災害対策本部の設置、市民や事業所への伝達・広報、火災に対する消火活動、避難所への避難誘導、被災者の救護活動、道路の交通規制、応急復旧活動など一連の訓練をライフライン等防災関係機関、地元企業の自衛消防隊、各種ボランティア団体、地元中学校区の住民など約70機関、1500名で毎年実施。 H24については岩崎中学校区で開催。 主な委託内容は機材借上代(テント、イス、机など設営機材)。</p> <p>◆24年度直接経費の内訳 消耗品費・食糧費等(783千円) 保険料(147千円) 機材借上(1,759千円)</p> <p>◆平成25年度直接経費の内訳 消耗品費・食糧費等(444千円) 保険料(147千円) 機材借上(2,679千円)</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	費用	直接経費	千円	2,069	2,124	2,689	3,270
	正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
		人件費	千円	799	799	799	799
	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	2,868	2,923	3,488	4,069
対前年比		%		101.9	119.3	116.6	
財源	一般財源	千円	2,868	2,923	3,488	4,069	
	国・県支出金	千円	0	0	0	0	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	防災訓練実施回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	防災訓練参加者数	人	目標	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績	1,461	1,533	1,547	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果			
	事業の達成状況	地震発生時における市の初動体制の立ち上げ、防災関係団体と連携した災害応急対策の実施など、総合的な実動訓練を実施することで防災力の向上が図れた。また、地域住民や中学生を対象に消火訓練、応急手当の方法、避難所運営訓練を行い、防災意識の向上を図ることができた。		
	事業実施における課題	訓練会場が毎年1中学校ということで、多くの市民が訓練に参加する機会がない。より多くの市民が防災訓練に参加できるように、実施手法を検討する必要がある。		
	事業を縮小・廃止したときの影響	地震等災害を想定した訓練を縮小・廃止した場合、実際の災害時の対応がスムーズにできなくなる。		
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 小牧防災リーダー会と協働で自主防災会や小中学校を対象とした防災・減災教育を実施し、訓練地域以外の地区住民に防災意識向上の場の提供を行うとともに、協働事業を通じて地域の防災リーダーの育成を行う。		
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	訓練を実施することで、市職員と防災関係団体の防災力の向上並びに地域住民の防災意識の向上を図ることができた。また、訓練プログラムに体育館での避難所運営訓練を取り入れることにより、実災害に即した内容となった。		
26年度以降の改善案	より多くの市民の方に参加していただくため総合防災訓練とは別に、複数区が合同で防災訓練を実施するよう働きかけていく。			

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。